

# 介護ICTを活用した高齢者の健康状態に関連する要因の検討 【情報公開文書】

## 1.研究実施について

「介護ICTを活用した高齢者の健康状態に関連する要因の検討」は京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。

- \* ICTとは、Information and Communication Technology情報通信技術の略称です。
- \* 本研究ではタブレット記録システムと体動センサーシステムを使用します。

## 2.研究機関の名称・研究責任者及び研究分担者の氏名

京都大学医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学分野

研究責任者	教授	中山健夫
研究実施責任者	助教	當山まゆみ
研究分担者	准教授	高橋由光
研究分担者	研究員	富成伸次郎
研究分担者	専門職学位課程	石川理華

## 3.研究の目的・意義

本研究は、ICTや介護ロボットを使用する高齢者施設における情報の在り方を詳細に調査し明らかにすること、また、これらの日々の介護記録や介護ロボットなどのセンサーで収集可能なデータから、転倒をはじめとする疾患の発生に関連する要因を探索することを目的としています。具体的には、高齢期の健康状態として大きな課題となる転倒、入院、感染症、認知症に関連する要因を探索します。

研究を通して導き出される結果をもとに、介護現場での適切な健康管理をサポートすること、厚労省の目指す科学的介護の推進に資することを目指しています。

## 4.研究の方法と研究実施期間

本研究は、社会福祉法人ウエル清光会（〒560-0035 大阪府豊中市箕輪2-13-12）のご協力をいただいて、各施設に保存された2017年4月～2022年3月のデータを対象として分析を行うものです。（後で述べるように、お名前など個人情報はいadakしません）。具体的な分析の対象となるデータは、下記の通りです。

- ・タブレット記録システムと体動センサーシステムに記録された情報
- ・薬剤情報提供書
- ・事故報告書
- ・介護／看護記録

## 5.研究対象者として選定された理由

本研究は、介護ICTを導入している入所施設・入居施設で生活する、要介護（要支援）認定を受けた65歳以上の方を対象としています。介護ICTの導入に積極的に取り組んでいるウエル清光会に入所している皆さんに研究へのご協力をお願いしています。

## 6.研究対象者の負担並びに予測されるリスクおよび利益

- 1) 本研究では、通常の業務において収集するデータを使用するため、新たに追加調査を実施する予定はなく、負担・リスクは生じ難いと考えています。
- 2) 本研究の結果をウエル清光会に還元することで、施設での適切な健康管理及び提供されるケアサービスの質が向上すると考えています。

## 7.参加の不同意について

研究に参加したくない方は、研究実施責任者 當山まゆみ までご連絡ください。

ご連絡を頂きましたら、直ちにデータから削除いたします。ただし、お申し出があった時、すでに最終的な分析用データが取りまとめられている場合は、データから除けない場合があります。

## 8.研究参加の自由と、撤回の自由

研究への参加は、自由であることが保証されます。参加しない場合、また、途中で参加を撤回された場合も、不利益な扱いを受けることは一切ありません

## 9.研究に関する情報公開の方法

京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学分野のHPで研究の概要についてご確認頂けます。

<http://hi.med.kyoto-u.ac.jp/resarch.html>

## 10.研究に関する資料の入手・閲覧の方法

研究結果はウエル清光会にご報告いたします。何かご質問があれば、研究実施責任者 當山まゆみ までご連絡ください。

## 11.個人情報の保護、個人情報等の取扱い

データはすべて、お名前などが分からないように番号にして（ID化）取り扱います。お名前とIDの対照表を作成し、対照表は社会福祉法人ウエル清光会の鍵付きの棚で収納します。研究期間中は、データはセキュリティの高いクラウドプラットフォーム（京都大学のGoogle cloudを予定）で保管されます。

## 12.試料・情報の保管および廃棄の方法

本研究で得られたデータは、研究終了後はUSBに保存し、鍵付き戸棚にて保管いたします。論文発表後10年間は保存し、経過後は適切に廃棄いたします。

## 13.研究資金および利益相反について

- 1) 研究資金の種類および提供者  
本研究は、2022年度科研費で行われます。
- 2) 提供者と研究者との関係  
京都大学及び上記基金は、研究の企画、運営、解析、論文執筆の内容に関与いたしません。
- 3) 利益相反  
利益相反について、「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査されております。

## 14.相談の窓口

京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 健康情報学分野 當山まゆみ

TEL	075-753-9477
E-mail	toyama.mayumi.7f@kyoto-u.ac.jp（*を@に変えてください）

京都大学医学研究科 総務企画課 研究推進掛

TEL	075-753-9301
E-mail	060kensui@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp（*を@に変えてください）

## 15.経済的負担・謝礼について

本研究は、通常の業務の中で記録される情報を分析する形で実施します。そのため、研究への参加に伴う経済的負担は想定しておりません。また、研究参加への謝礼はございません。あらかじめご了承の上、ご参加頂きましたら幸いです。

## 16.当該研究によって生じた健康被害に対する補償の有無・内容

本研究によって重篤な健康被害が生じるとは考えにくく、よって補償などは想定しておりません。しかし、何らか困ったことが生じた場合は相談の窓口までご相談下さい。

## 17.試料・情報の二次利用、他研究機関に提供する可能性の有無

本研究で収集した試料・情報は、匿名化した上で、同意を受ける時点では特定されない将来の研究のために用いる可能性があります。二次利用する場合は、あらかじめ倫理委員会の審査を受けます。他研究機関へ提供は行いません。また、京都大学医学研究科健康情報学分野ホームページ上で、研究の目的を含む研究実施の情報を公開し、研究対象者が拒否できる機会を保障します。

## 18.情報の管理について責任を有する者

京都大学医学研究科社会健康医学系専攻 健康情報学分野 助教 當山まゆみ